



流星観測用カメラ



電源部

画像提供: 千葉工業大学様

シグナス補給船運用6号機打ち上げ成功

3月23日12時05分(日本時間)、米国ケーブカナベラル空軍基地より、シグナス補給船運用6号機を搭載した「アトラスV」ロケットが打ち上げに成功しました。この補給船には、千葉工業大学様が開発した流星観測カメラシステム「メテオ」が搭載されており、国際宇宙ステーション(ISS)米国実験棟デスティニー(Destiny)に設置され、約2年間流星観測を行います。「メテオ」はISS軌道上からハイビジョンカメラを使って流星を撮影し、飛跡や明るさから流星となるちり(流星塵)の大きさを調べたり、回折格子を使った分光観測でちりの化学組成を調べることを目的としています。明星電気はISSからカメラへ供給する電源部の開発、民生品の宇宙搭載化(宇宙仕様)技術によるカメラの除湿対策などの製造支援を通じ、「メテオ」の開発に携わっております。

明星電気の技術が、大学・研究機関による宇宙の謎の解明に役立てるように、開発を続けていきます。

(担当: 宇宙防衛事業部)



茨城県庁に設置された「POTEKA」

茨城県庁POTEKA情報提供開始

茨城県様は自然災害に備えるため、明星電気のPOTEKAを県庁本庁舎内県民広場と三の丸庁舎屋上に設置し、4月1日から本格運用を始めました。

POTEKAは気温・気圧・風向・風速・雨量など8要素の観測を行うことができ、誰でも気象情報をリアルタイムにインターネットで閲覧することが可能です。

茨城県庁の他にも、すでに県内では5市24箇所にPOTEKAが設置されており、順調に稼働しています。

今後は、突風やゲリラ豪雨のような局所的な気象の急変に対する防災・危機管理に貢献できるように、POTEKAの展開、サービスの拡充を進めていきます。

(担当: 気象・管制事業部)



伊勢崎市文化会館玄関



設置されたS401-PSC

伊勢崎市文化会館様にS401-PSC導入

伊勢崎市文化会館様に、明星電気の制御用地震計S401-PSCが導入されました。

この地震計は、文化会館事務室の壁面に設置され、あらかじめ設定した震度以上の地震を検知すると、自動的に2箇所の自動ドアを開放する働きを担っております。

文化会館様ではコンサートをはじめ、発表会や学校行事などさまざまな催しが行われており、本地震計の採用により、有事の際にご利用者の避難経路の確保に役立ちます。

また、この地震計にはリアルタイム震度演算方式(*)が採用されており、瞬時に震度計測を行い、正確な制御動作を可能としています。

これからも明星電気は、防災・減災関連製品の開発を通して、みなさまの安全・安心に貢献していきます。

※リアルタイム震度演算方式: 特許4229337 独立行政法人防災科学技術研究所

(担当: 防災事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。

明星電気の活動を紹介します。